

しゃかいふくし ほうじん いわて かいこうほう し
社会福祉法人 岩手ひだまり会広報誌

ひだまり

2019.9
Vol.16



だい し ぜん の なか あおぞら した
大自然の中・青空の下で!
い さ わ
ひだまり胆沢

ちいきしゃかい こうけん しゃかいふくし ぞうしん む 地域社会への貢献と社会福祉の増進に向けて

平成三十年度事業報告及び決算

令和元年六月二十一日定時評議員会
において平成三十年度事業報告と収支
決算が承認されました。ここで報告を
させていただきます。

平成三十年度は、平成二十九年度の社会
福祉法改正に基づく法人運営の安定化を図
りながら、報酬改定や職員の配置基準の変
更への対応を行ってきました。

報酬改定は、区分制の導入、加算の厳格
化などが実施されたことから、法人として
は収入額の減少が危惧されましたが、収入
面では好結果を生みだしたところです。し
かしながら、加算については、岩手県の実
地指導において加算要件を欠くものもあつ
たことから、更に増収を図るためには、今
後加算獲得要件の検討と対応が必要です。
職員の配置基準の変更については、適正な
人員配置に努めてきたところです。

職員研修については、あらゆる機会を捉
え実施してきました。中でも、毎年度実
施している一人一研究は、平成三十年度の
新たな試みとして保護者会会員の参加も得
て実施しました。参加した保護者会会員か
らは、研修の実際を見ることができたとの
高い評価を得たところです。



* 左発表者 右上からコメントする保護者会長・役員

また、昨年八月には花巻温泉で日本自閉症
スペクトラム学会第十七回研究大会（全国大
会）事務局として花巻温泉を会場にして開催
しました。第十七回研究大会は、全国から約
八百人の参加者を迎えるとともに、当法人職
員の研修も兼ね、職員の資質の向上にも寄与
したところです。





地域貢献事業としては、昨年六月奥州市相撲協会との共催による伊勢ノ海部屋奥州台宿を、法人後援会、保護者会の多大な協力を得て開催した伊勢ノ海部屋台宿は、三千人を超える観覧者を迎えることができました。利用者・者との触れ合いはもとより、多くの市民とも触れ合い、法人として地域に貢献することができました。

一方、職員の確保は、ハローワークへの求人を中心に職員の獲得を図ってきましたが、御多分に漏れず非常に厳しい状況でありました。今後、職員の獲得はますます厳しさを増すものと予想されます。

平成三十年度は、法人本来の事業に加え、全国的な事業の開催など繁忙の年といっても過言ではありませんでした。職員は、そのよくな中にもあっても淡々と業務に向かってくれ



ました。このことは、法人の大きな財産であり「一人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ」の具現化に一歩でも歩みを近づけたものと思えます。

今後も、役職員一丸となって「一人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ」の理念のもと、利用者・者、ご家族とその地域、関係機関等と「包括的な支援」に向けて、役職員一丸となり地域社会への貢献と社会福祉の増進に努めます。

平成30年度若手ひだまり会決算報告

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	123,425,341	流動負債	16,235,180
現金預金	60,594,293	事業未払金	12,157,217
事業未収金	60,037,692	預り金	4,077,963
立替金	100,638		
前払金	1,000,000		
前払費用	1,674,460		
仮払金	100,000		
徴収不能引当金	▲ 81,742	固定負債	19,791,303
固定資産	133,880,658	長期運営資金借入金	7,825,000
基本財産	30,185,714	退職給付引当金	11,966,303
土地	8,414,958	負債の部合計	36,026,483
建物	1,770,756		
定期預金	20,000,000		
その他の固定資産	103,694,944		
土地	25,911,200		
建物	33,158,860		
構築物	385,901		
機械及び装置	239,792		
車両運搬具	5,837,147		
器具及び備品	2,847,557		
ソフトウェア	1,278,184		
投資有価証券	100,000		
退職給付引当資産	11,966,303		
人件費積立資産	10,000,000		
事業調整積立資産	10,000,000		
敷金	1,970,000		
資産の部合計	257,305,999	純資産の部	
		基本金	20,000,000
		国庫補助金等特別積立金	946,062
		その他の積立金	20,000,000
		人件費積立金	10,000,000
		事業調整積立金	10,000,000
		次期繰越活動増減差額	180,333,454
		(うち当期活動増減差額)	32,020,193
		純資産の部合計	221,279,516
		負債及び純資産の部合計	257,305,999

事業活動計算書

平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (単位:円)

資金収支計算書

平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動外増減の部	収益	
	就労支援事業収益	1,438,874
	障害福祉サービス等事業収益	333,366,243
	その他の事業収益	27,082,050
	雑収益	7,378,945
	経常経費寄附金収益	505,000
	サービス活動収益計 (1)	369,771,112
	費用	
	人件費	259,568,098
	事業費	24,927,064
事務費	43,650,178	
就労支援事業費用	847,859	
減価償却費	9,076,307	
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 329,510	
徴収不能額	63,398	
徴収不能引当金繰入	81,742	
サービス活動費用計 (2)	337,885,136	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	31,885,976	
サービス活動外増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	41,212
	その他のサービス活動外収益	36,000
	サービス活動外収益計 (4)	77,212
	費用	
支払利息	6,924	
その他のサービス活動外費用	0	
サービス活動外費用計 (5)	6,924	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	70,288	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	31,956,264	
特別増減の部	収益	
	その他の特別収益	63,929
	特別収益計 (8)	63,929
	費用	
	その他の特別損失	0
特別費用計 (9)	0	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	63,929	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	32,020,193	
前期繰越活動増減差額 (12)	148,313,261	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	180,333,454	
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(15)	180,333,454	

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	1,438,874
	障害福祉サービス等事業収入	360,448,293
	経常経費寄附金収入	505,000
	受取利息配当金収入	41,212
	その他の収入	7,414,945
	事業活動収入計 (1)	369,848,324
	支出	
	人件費支出	256,147,576
	事業費支出	24,927,064
事務費支出	43,650,178	
就労支援事業支出	847,859	
支払利息支出	6,924	
その他の支出	0	
流動資産評価損等による資金減少額	63,398	
事業活動支出計 (2)	325,642,999	
施設整備等による収支		
収入		
施設整備等収入計 (4)	0	
支出		
固定資産取得支出	16,860,600	
その他の施設整備等による支出	0	
施設整備等支出計 (5)	16,860,600	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 16,860,600	
その他の活動による収支	収入	
	長期運営資金借入金収入	7,825,000
	積立資産取崩収入	566,414
	その他の活動による収入計 (7)	8,391,414
	支出	
積立資産支出	3,986,936	
その他活動支出計 (8)	3,986,936	
その他活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	4,404,478	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)	31,749,203	
前期末支払資金残高 (12)	75,522,700	
当期末支払資金残高(11)+(12)	107,271,903	

いわて
岩手ひだまり会保護者会バス遠足

いわて 子どもの森へ 行って来ました



ゴーゴーハウス冒険の塔のつびい



子どもの森のハローハウス

到着後記念写真を撮りました

令和元年七月七日(日)総勢百人以上が参加して岩手ひだまり会保護者会のバス遠足が行われました。

朝八時に江刺総合支所に集合し、一戸町の奥中山にある、いわて子どもの森に向かいました。

岩手県立児童館いわて子どもの森は、岩手県唯一の大型児童館で、キャンプ場や宿泊施設、大型遊具設備も備えた複合施設です。子どもの発達促進や地域全体の健全育成機能を果たすことを目的として作られています。

会場についてみんなで、記念写真を撮った後、研修室で係の方から、注意点や施設の案内をうかがい、それぞれ自由に見学を行いました。ハローハウスやゴーゴーハウス、水の広場を始め、屋外のような施設が、広大な敷地内に設置された館内を、みんな思いに見学して回りました。

お昼は、研修室に戻ってみんなで昼食を食べた後、お土産を買ったり、おやつを食べたり、それぞれ休憩を取り、帰路につきました。

天候に恵まれ、爽やかな初夏の日に、親子も楽しんだ充実の一日になりました。



研修室で昼食を食べました



おもちゃ湯で楽しみました



それぞれ館内を見て回りました



バスに乗り、帰路に着きました



お土産を買いました



ハラヘッタ亭・もぐもぐ

社会福祉法人岩手ひだまり会
役員改選

六月二十一日令和元年度社会福祉法人岩手ひだまり会定時評議員会において理事・監事が改選されましたのでここに報告申し上げます。

- | | | | | | | | |
|-------------------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|------------------|
| 理事長
高橋 洋子 (重任) | 常務理事
大沼 一裕 (重任) | 理事
菅原 憲雄 (重任) | 理事
尾山 恒夫 (重任) | 理事
千葉 昭好 (重任) | 理事
及川 幸子 (新任・保護者会長) | 監事
大谷 直子 (重任) | 監事
及川 章吉 (重任) |
|-------------------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|------------------|

本改選において、永年理事としてご貢献いただいた向山 晃さんと伊藤 恵美さんがご退任されました。誠にありがとうございました。

(敬称略)

ひだまり保護者会役員改選

四月二十日開催の保護者会総会において役員が改選されました。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|----------------------------|---------------------|-----------|
| 会長
及川 幸子
ひだまり江刺桜木・第二桜木 | 副会長
沼田 秀幸
ひだまり江刺桜木 | 理事
菊地 愛子
ひだまり江刺岩谷堂 | 理事
米倉 美雪
ひだまり水沢森下 | 理事
菊池 恒夫
ひだまり水沢森下 | 理事
及川 妙美
ひだまり水沢駅東 | 理事
那須 薫
ひだまり水沢横町 | 理事
伊藤 江子
ひだまり江刺第二桜木 | 理事
佐々木 互
ひだまり北上中央 | 理事
佐藤 敬一
ひだまりにこっと | 理事
福田 富子
ひだまり胆沢 | 理事
大谷 直子
ひだまり江刺桜木 | 事務局
佐藤 栄子
ひだまり江刺岩谷堂 | 事務局
千田 志ずえ
ひだまり水沢森下 | 事務局
吉田 佳美
ひだまり北上中央 | 事務局
小野 寺奈保子
ひだまり水沢駅東 | 事務局
伊藤 恵美
前会長 | 監事
北 上 |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|---------------------------|-------------------------|-------------------------|-----------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|----------------------------|---------------------|-----------|

(敬称略)

第2回子育てカフェ開催！！



子育てはとっても大変です。ほんとは沢山褒めてあげたいのに、怒ってばかりで…と凹んでいませんか？子育ての悩みを話しながら、皆で褒め方のコツ（ペアレントトレーニング）をちょっとだけ練習してみましょう！

- ・日 程 9/14・9/28・10/5・10/19・10/26・11/9
 - ・参加要件 概ね3歳から10歳のお子様の親・祖父母の方で、第1～6回まで参加可能な方
 - ・場所 Cafe unma (カフェウンマー) 岩手県奥州市水沢斉の神84-1
 - ・参加費 1回500円 (カフェウンマーの美味しいドリンク付き)
 - ・定員 6名 (定員になり次第締め切り)
 - ・申込み 社会福祉法人 岩手ひだまり会 相談支援事業所ひだまり 佐々木 迄
- Tel.0197-47-4234 Fax.0197-47-4230

保護者だより

みずさわもりした
ひだまり水沢森下

母 志ずえさん
長男 千田 悠稜さん



平成二十七年からひだまり水沢森下児童課
でお世話になっていきます。悠稜は小学校五年
生です。利用し始めたきっかけは、いくつか
見学して回った中で一番職員さんの熱意が伝
わってきたのがひだまりさんでした。

個別の活動では、苦手な事にも挑戦させて
もらえたりして家ではやりたがらない事も少
しずつ上手になってきました。

活動の中で悠稜が好きなのは、ドライブや
お買い物などのお出かけです。車内での楽し
い会話や、自分でお金を支払うちよつとした
ドキドキ感など、帰宅するとてもキラキラ
した表情で私に教えてくれます。普段家族で
行動するどつしても親が手をかけてしま
いがちですが、活動を通じて成長していく悠稜
が見られてとても嬉しく思っています。

これからもずっとお世話になりたいひだ
まりさんです。



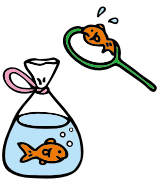
やりがいのある
仕事ができる
楽しい毎日です

佐藤 草太さん(十九歳)

岩手ひだまり会江刺第二校木に二年間通
所し、昨年三月に前沢明峰支援学校高等部
を卒業した佐藤草太さんは現在、金ケ崎町
社会福祉協議会ワークステーションかねが
さきで元気に働いています。「食べものの
仕事に就きたい！」と学校の実習でこの施
設を訪れ、通所を決めました。

この通所施設では食堂と作業室の二つ
の業務に分かれています。「作業の内容は、
玄関、トイレ、流し台の掃除、洗浄室での
食器洗い、すすぎ、カゴ入れ。配膳室での
食器の片付け。」「床磨き。レジ。給仕」の
午前と午後でローテーションを組んで振り
分けて仕事に取り組んでいます。

草太さんは、食器洗いをしたことがなく、
最初は戸惑いもありましたが、今では難し
い仕事でも率先して行ない、「お茶つごど
うぞ」などと訛りを交えたしゃべりがお客
さんにも喜ばれ、職場をなごませています。
カラオケやダンスが好きな草太さんは、
職場の親睦会や旅行などでも人気者です。
一番人気は「ワンコイン(五百円)の日
替わり定食(コーヒー付)で、ラーメンや
カレーも美味しいので、人気があるよー」と
と教えてくれました。



先入観にとらわれずに

社会福祉法人岩手ひだまり会 常務理事



大沼 一裕

スーパーで買った物をレジ袋に入れた後、レジの女性に「ありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝える男性がいた。

レジの女性は、笑顔でその男性に会釈をしていた。男性は、帰ろうとせず、またレジの女性に向かって「ありがとうございます。」と声をかける。レジの女性は、男性に会釈をする。男性は、帰らずにまたレジの女性に声をかける。「ありがとうございます。」と…。

この場面が数回続いた。レジの女性は、レジ打ちをしながら会釈をしているのだ。最後には、笑っていた。男性は、レジ袋を持ち、台の横の足元においてある、何個か重ねられたかごに触れ、確認するうちにぐるぐる回り、位置を直してスーパーの出口の方へ足早に歩いて行った。その光景を見て、男性の買い物の際のルー

ティーンなのだと思った。半面、レジの女性が会釈ではなく、「ありがとうございます。」と返事をしたり男性は、「一回の感謝の気持ちで帰ったのではなからうか?」...

私は、「子どもに「ありがとうございます」と言いなさい。」と話しはしたが、回数は話していない。一般的に一回だと先入観を持っているからである。しかしこの先入観は、間違っではないだろうか。何回も、感謝の言葉を言ってもいいはずである。改めて、先入観にとらわれずに物事を考えることの必要性を感じた光景であった。

編集後記



今年もあとという間に夏休みが過ぎ、夏も終わるにつれて... 今回第十六号では、決算・事業報告、親子バス遠足など、盛り沢山の内容となっております。利用者様が健康的に過ごせるように、水分補給等、体調管理に注意し、元気に明るく過ごせるように、支援していきたくと思えます。(松本)

寄贈品について

以下の方よりご寄贈頂きました。

- 平成三十一年一月八日 佐々木互様より 本立て(清風支援校製)
 - 平成三十一年一月三十日 佐藤実様より 節分菓子三十袋
 - 平成三十一年二月二十八日 佐藤実様より ひな祭り菓子三十袋
 - 平成三十一年三月十五日 佐藤実様より 遊具(ハンモック)
 - 平成三十一年三月十八日 小原自動車工業(株)様より 寄附金 五十万円
 - 令和元年五月十日 竹内美紀様より 椅子二十脚・座布団・タオル・クリスマスツリー・スチール棚他
 - 令和元年五月二十四日 加藤園芸様より 野菜、花苗
 - 令和元年五月二十五日 (株)公衆 ウォンス奥州様より お菓子詰め合わせ二百五十個
- ご寄附いただきました方々 ありがとうございます。